

2021年度 看護学部キャンパスライフに関するアンケート調査 (結果概要のフィードバック)

学生の皆さん、キャンパスライフに関するアンケートへのご協力をありがとうございました。

本アンケートは、「学生生活の実情」、「充実した学生生活を送るための課題」を把握し、学生支援の在り方を検討することを目的に実施しています。今回は対象者 366 名中、356 名（回答率 97.2%：1 年次生 89 名、2 年次生 90 名、3 年次生 82 名、4 年次生 85 名、別科生 10 名）から回答を頂きました。結果の概要と皆さんから寄せられたご意見に対するコメントをお知らせいたします。皆さんからいただいた貴重なご意見をもとに大学と学生委員会とで協力しながら、改善を試みていきます。

(2022年1月31日 佐久大学看護学部 学生委員会)

1. キャンパスライフ

1) クラブ・サークル活動の参加状況 (図1)

- 看護学部生の約 4 割 (129 人) がクラブやサークル活動に参加していました。
- 昨年の 1 年生 (現 2 年生) は 15% しかクラブ・サークル活動に参加していませんでしたので、オンラインでの周知・勧誘や感染防止対策を講じながらの活動継続などにより、今年度は 1 年生の加入率が高くなったことが考えられます。
- 今後もコロナ禍においても感染防止対策を講じながら、クラブやサークルの活動を継続できるようにサポートいたします。

2) 学習の状況 (図2)

- 授業の予習・復習・課題をする時間が週 5 時間未満の学生が約 6 割でした。自己学習は単位修得や国家試験の可否に影響しますので、学習習慣が定着するようにサポートしていきます。

2. 学生支援

1) キャリア開発支援 (図3)

- 3・4 年生にとってキャリア開発支援プログラムは実習や就職の準備に役立っていました。一方、1・2 年生は就職活動まで時間がありますので、講座内容と就職活動との関連がイメージしにくいことが考えられます。
- 3・4 年生には実習や就職活動に役立つ実用的なプログラム、1・2 年生には実習や就職活動の基盤となる社会人基礎力を高めるプログラムの提供を継続します。

図1 クラブ・サークル活動への参加

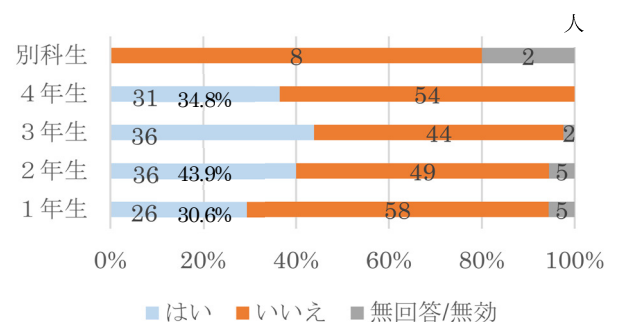


図2 授業の予習・復習・課題をする時間

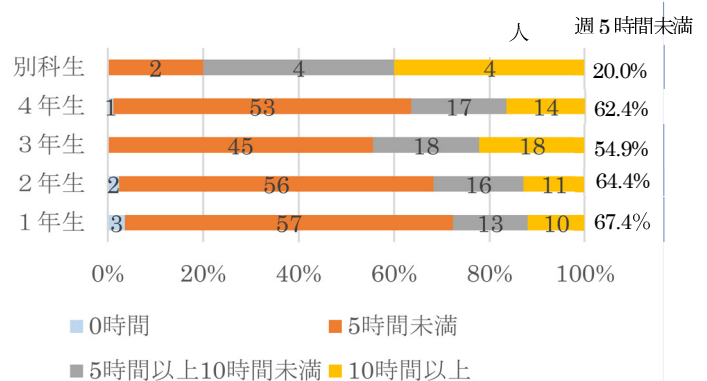
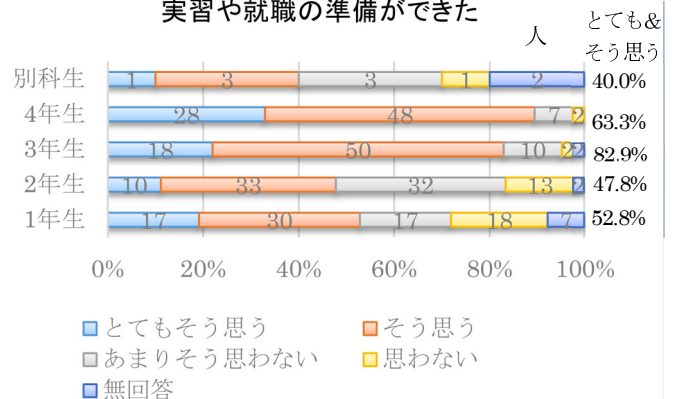


図3 キャリア開発支援プログラムを利用して実習や就職の準備ができた



2) チューター制度 (図4)

- グループチューター制を利用した学年間交流ができていたのは、1年生8割(昨年約4割)、2・3年生7割(昨年約6割)、4年生は6割(昨年約5割)でした。いずれの学年も昨年より先輩や後輩との情報交換ができていました。
- 今後も、新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら、チューター活動による交流を実施いたします。

3. 施設・設備 (図5)

- 授業時間外に学内でくつろげる場所に満足している学生は約7割(昨年は約5割)でした。新校舎の完成や、旧校舎のリフォームなどにより、学生が学内でくつろげる場所が増えたためと考えられます。
- 学生の皆さんがより一層学内でリラックスして過ごせるように、環境整備をしていきます。

4. 新型コロナウイルス感染症対策 (図6)

- 大学では、学生の皆さんが安全に授業を受けられるように、教室の座席間隔をとる、机・椅子の消毒、洗面所にペーパータオルの設置、食堂にアクリル板の設置など各種新型コロナウイルス感染症対策を講じてきました。このような対策に対して8割以上の学生に満足していただきました。
- 今後も引き続き、学生の皆さんと一緒に新型コロナウイルス感染症対策に取り組み、安全な環境で授業を受けられるように努めていきます。

5. 総合的な大学生生活の満足度 (図7)

- 8割以上の学生が大学生生活に満足をしていました。
- 今後も学生のみなさんが充実した学生生活を遅れるように、学修、キャリア開発、健康や精神面、経済的支援など総合的にサポートをしていきます。
- なにか困ったことがありましたら、学生なんでも相談室やチューターにご相談ください。

